PARAMOUNT BED

# 取扱説明書

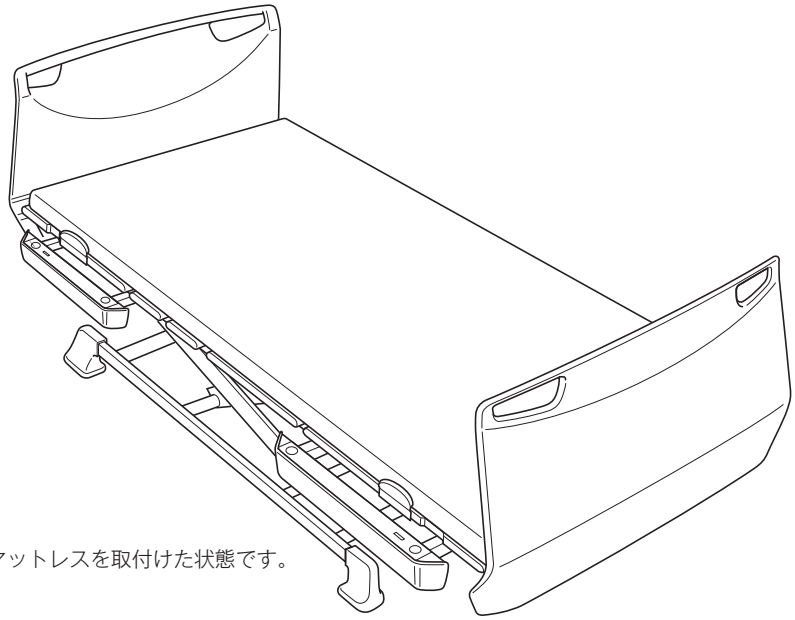
## 在宅ケアベッド

保証書別添

7F11431800A1

rento

レント シリーズ



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

### まえがき

このたびは、**在宅ケアベッド レントシリーズ**をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

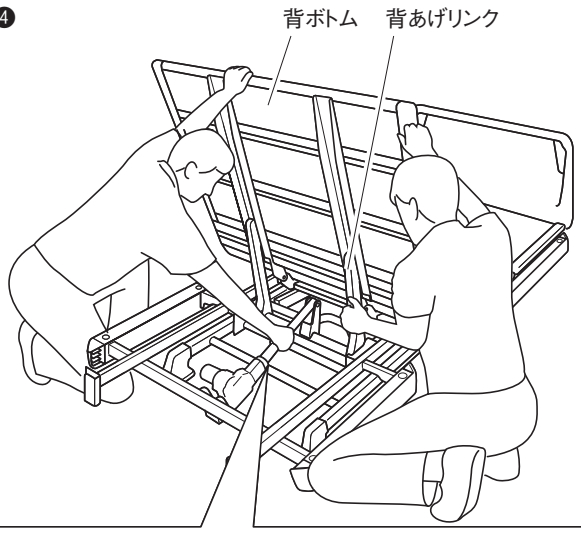
- **ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- **ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。**
- **この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。**
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合せください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

パラマウントベッド株式会社

# 15 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

## 1. 背さげのしかた

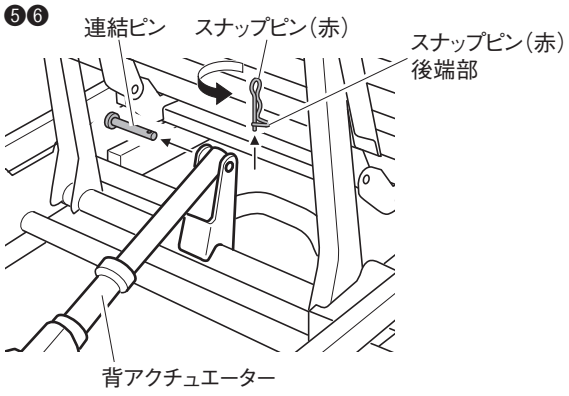
| 使用する工具 | ペンチ・プライヤー（小） |
|---|---|

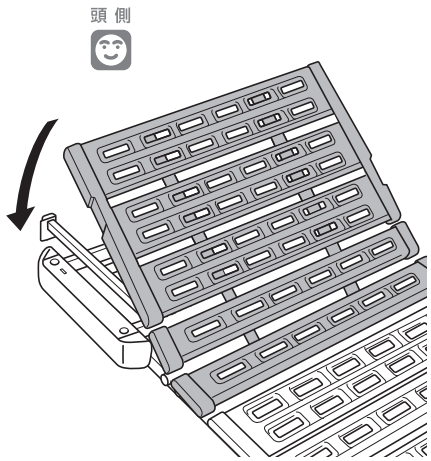



スナップピンの抜きかた

●スナップピン（赤）を、図の方向にひねり、そのままスナップピン（赤）の後端部を押して、ピンを抜いてください。

※ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。




**■停電時やベッドの故障により、背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。背さげ操作は、以下の手順で行ってください。**

**停電時以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合、77・78 ページの「17 故障かな？と思ったら」に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店もしくはパラテクノコールセンター(101 ページ参照)までご連絡ください。**

**⚠注意（ちゅうい）**

**作業は2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれ、けがをするおそれがあります。**

❶ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

❷ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、寝具･マットレスなどをベッドから降ろしてください。

❸ヘッドボードを取外してください。(81 ページ参照)

❹背ボトムと背あげリンクを支えてください。

**⚠注意（ちゅうい）**

**2モーター 1モーター(脚) で、背膝連動に設定している場合は、背あげリンクをしっかりと持って操作してください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。**

❺背アクチュエーターの先端の連結ピンについているスナップピン（赤）を取外してください。

❻連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと背あげリンクが自由に動くようになります。

注記！ **取外した連結ピンおよびスナップピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。**

❼背あげリンクを降ろしてから背ボトムをゆっくり降ろしてください。

❽ヘッドボードを取付けてください。(56 ページ参照)

注記！ **この作業を行ったときは、復帰作業を行って元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。**

## 2. 戻しかた

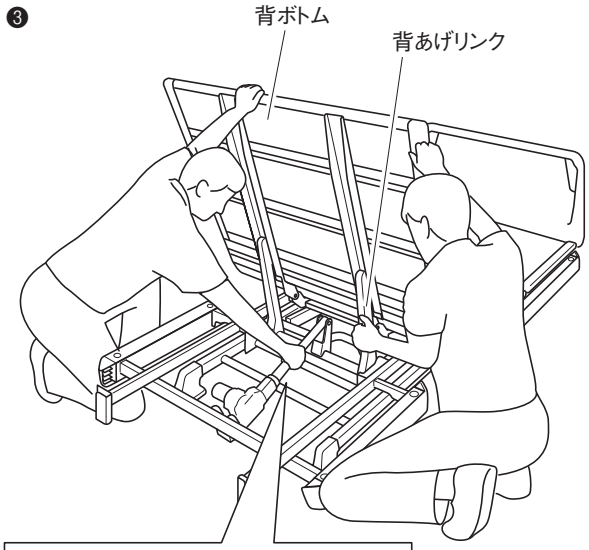
| 使用する部品 | 取外した連結ピン、新しいスナップピン(赤) 各1本 |
|---|---|

**■停電時は、電源が回復した後に、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、59 ～ 63 ページの「11 組立後の点検」に従い、点検を行ってください。**

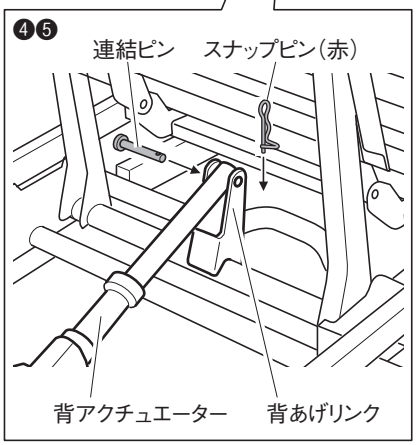
**⚠注意**

**作業は2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれ、けがをするおそれがあります。**

❸




❹❺




**⚠注意**

**スナップピン(赤)は再利用しないでください。ベッドが破損してけがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、販売店またはパラテクノコールセンター(101 ページ参照)までご依頼ください。**

❶ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。

❷ヘッドボードを取外してください。(81 ページ参照)

❸背ボトムと背あげリンクを持ちあげ、支えてください。

注記！

**2モーター 1モーター(背) をご使用の場合、背膝連動を解除(「背あげ」に切換え)した方が作業がしやすくなります。(27・28ページ参照)**

❹背アクチュエーター先端の穴と背あげリンクの穴の位置をあわせ、取外してあった連結ピンを差込んでください。

❺連結ピンが抜けないようにスナップピン(赤)を差込んでください。

❻ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。

❼手元スイッチを操作して背ボトムを一番下までさげてください。

❽ヘッドボードを取付けてください。(56 ページ参照)

# 15 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

## 3. スマートハンドルによるベッド操作のしかた

**⚠注意**

**スマートハンドルの操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。スマートハンドルの操作とベッドの手元スイッチでの操作を同時に行うと、ベッドが故障するおそれがあります。**

- **スマートハンドル（KQ-P70S:別売）をベッドに取付けることにより、「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高ささげ」の操作を行うことができます。**
- **スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。**
- **スマートハンドルは停電時やベッドの故障※などの緊急時に、すぐに使用できるよう収納ケースに保管してください。**
  **※故障内容によっては、スマートハンドルによる操作ができない場合があります。**
- **レントシリーズは、収納ケースをベッドのフレームに取付けることはできません。**

### スマートハンドルの取付けかた・取外しかた

**【スマートハンドルの取付けかた】**

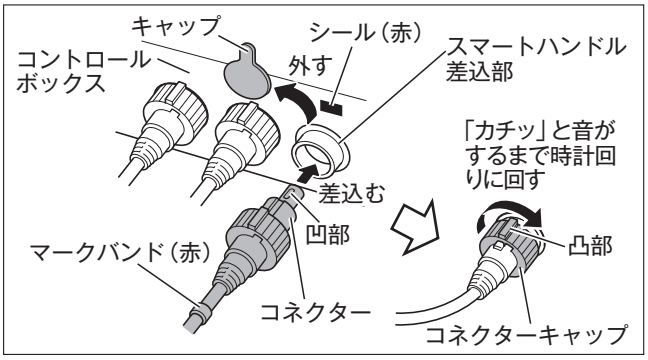
① ベッドのコントロールボックスのスマートハンドル差込部(シール：赤)のキャップを取外してください。

② スマートハンドルのコネクターを、ベッドのコントロールボックスの差込部（シール：赤）に差込んでください。

③ コネクターキャップを「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。

**【スマートハンドルの取外しかた】**

① 使用後は取付けと逆の手順でスマートハンドルを取外し、収納ケースに入れて保管してください。

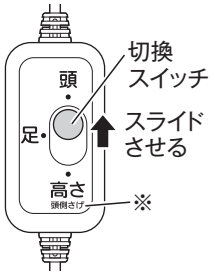



**【スマートハンドルの取付けかた】①で取外したキャップは、コントロールボックス保護のために、必ず元通りに取付けてください。**

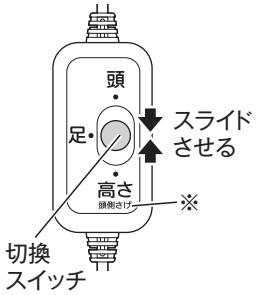
### 操作のしかた

① 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせてください。
※切換スイッチのラベルには「頭側さげ」と表示されていますが、レントシリーズはベッド全体の高さがさがります。

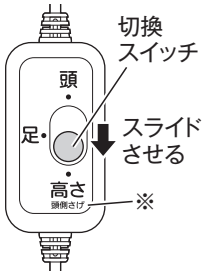
**背あげ/背さげ**

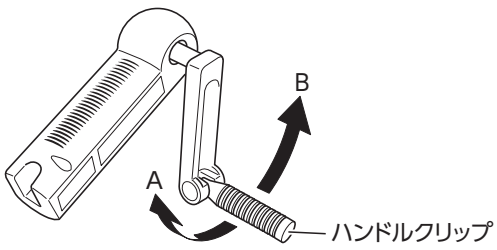



**膝あげ/膝さげ**




**高ささげ**




② ハンドルグリップを回すとベッドが動きます。

| | ハンドルグリップを回す方向 | |
|---|---|---|
| | A | B |
| 頭 | 背があがる | 背がさがる |
| 足 | 膝がさがる | 膝があがる |
| 高さ | ー | 高さがさがる |